

産廃いわて

2012-03 平成24年5月29日発行

# かわらばん

社団法人 岩手県産業廃棄物協会

〒020-0023 盛岡市内丸16-15 内丸ビル5F

URL: <http://www.iwatesanpai.or.jp>

TEL019-625-2201 FAX019-624-1920



## 第27回通常総会

5月18日(金) ホテルメトロポリタン盛岡において第27回通常総会が開催されました。112名の会員・来賓の方々にご出席いただきました。

門協会長から「災害廃棄物の処理は制度的な壁がある。全国産業廃棄物連合会を通じて皆様に関わりやすい状況を作りたい。一般社団法人をめざし今以上に信頼される組織にしたい。」という挨拶をいただきました。

議長に塩原弘様が選任され議案の審議に入り、決算、予算など順次審議され、異議なく承認可決されました。

総会終了後は来賓の方々にもご臨席をいただき懇親会を開催し、会員相互の親睦を深める中、盛会のうちに幕を閉じました。



## 県の新組織スタート

岩手県では、環境生活部に「廃棄物特別対策室」を設置し、災害廃棄物の処理を担当する専門の業務を開始しています。

また、総務部には放射線影響対策課を置き、釜石市と宮古市に市町村の復興計画を支援する「復興推進課」を配置しました。

問合せ先は次のとおりです。

廃棄物特別対策室	019-629-6942、6943
放射線影響対策担当	019-629-6815、6912
復興推進課(釜石)	0193-25-2701
復興推進課(宮古)	0193-64-2211
県南広域振興局総合窓口	0197-22-2811



## 全産連会長表彰

多年にわたる功績が認められ、会員が全国産業廃棄物連合会会長表彰を受賞することになりました。

表彰式は、全国産業廃棄物連合会の定時総会に合わせて6月15日(金)に明治記念館で行われます。

受賞おめでとうございます。今後のさらなるご活躍を期待しております。

**優良従事者表彰** リックス㈱の五ノ井稔さん



## クリーンいわて行動の日

5月23日に協会の事務局職員が県や小さな親切運動県本部の方々と一緒に盛岡市でごみ拾いをしました。

2千人も参加したので落ちているごみを見つけるのに苦労しました。昔はもっと沢山落ちていたのに。。。





## 福岡県青年部会との交流

少し報告が遅れましたが、3月8日に青年部会のメンバー7名が福岡県を訪問し福岡県産業廃棄物協会青年部会の皆様と情報交換してきました。レアメタルリサイクルや災害廃棄物の処理など意見交換したほか、処理施設を見学しました。若い力を結集し広域連携で新たな課題に立ち向かうことを誓いました。



## 解体時のアスベスト基準

環境省は、アスベストを含む建築物の解体工事を行う特定工事施工者に対し大気濃度の測定義務を追加するとともに、作業時の敷地境界における大気濃度基準を新たに設定することを検討しており、大気汚染防止法を改正する動きがあります。

これまでのモニタリング調査でアスベストが解体工事で飛散している実態が判明していることから大震災の被災地での飛散防止を徹底しようとするものです。



## 災害がれきの推計量修正

岩手県は、5月21日に開催された災害廃棄物処理対策協議会で東日本大震災により発生したがれきがこれまでの推計量435万トンより90万トン多い525万トンに上ることを明らかにしました。不燃物に含まれる土砂が当初の想定より多かったことなどが原因で、当初の計画どおり平成26年3月までの完了を目指していますが、県外に処理を依存する量は119万トンに倍増するとのことです。量的に最も多いのは147万トンのコンクリートがらで、解体予定分などが48万トン増えました。



## 除染モデル成果報告

日本原子力研究開発機構から除染モデル事業の成果が報告されました。一般住宅の壁の放射能汚染濃度がタオルなどの拭き取りで約70パーセント低減します。また、森林の縁から奥へ10メートルにわたって腐葉土などの表層を取り除いた場合、隣接する生活圏の空間放射線量が40パーセント低減できる(10メートルを超えて除染しても効果は変わらない)。農地は、表層から深さ5センチメートルの範囲に放射性セシウムが残る傾向が強いとのことです。



## 事務局便り

### 【会員の方へお願い】

先日、協会費の納入の文書を送付させていただきました。何かと出費多端とは思いますが、期日まで(8月末)に納入をお願いいたします。

### 編集後記

今年度も総会を終え、これから本格的な事業展開を目指します。

皆様にタイムリーな情報を提供できるように頑張ります。